



様式第6号(第6条関係)

令和2年 4月 1日

(宛先) 安曇野市議会議長 召田義人 様

会派名 自民安曇野
代表者氏名 小松洋一郎
経理責任者氏名 竹内秀太郎

令和元年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位:円)

項目	決算額	備考
政務活動費	480,000	120,000円×4人
	70,000	70,000円×1人
合計	550,000	

支出の部

項目	決算額	備考
資料購入費	153,288	日経グローバル 90,720円 自治体情報誌「ディーファイ ル」58,968円 他3,600円
研修費	227,240	(社)地方職員研究会受講代 120,000円(15,000円×2 講座×4人) 交通費 JR 52,000円 タクシー代 3,240円 宿泊代 52,000円(4人分)
陳情活動費	102,540	交通費 JR 49,080円(4人) タクシー 1,060円 宿泊代 52,400円(4人分)
調査研究費	5,060	交通費 JR 3,760円(4人) タクシー 1,300円

		宿泊代と一部交通費は陳情活動費で一括計上
合 計	488,128	

2 収入支出差引残高

61,872 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

別紙

政務活動実施状況 1

活動名	自治体の行財政運営調査	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	地方自治の活性化、議会改革を図るため	
活動の概要	日時	平成31年4月1日(月)から令和2年3月31日(火)まで
	研修先・主催者等	1. イマジン出版(株)の自治体情報誌「ディーファイル」を年間購読 2. 日本経済新聞社発行の「日経グローバル」を年間購読 3. (株)日本時事評論社の「日本時事評論」を年間購読
	報告内容・実施したこと。	上記の1と2は月2回(年間24回)、年間24回の予約購読を行いました。 上記の3は7月から3月まで予約購読を行いました。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	地方創生、自治体の行財政改革、議会改革、少子高齢化、環境問題、観光、医療、教育、福祉、防災など自治体の活性化、議会改革を進めていくのに生かしたい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

政務活動実施状況 2

活動名	「本格的少子高齢化社会における社会保障政策を考える」 セミナー研修会参加	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	本格的少子高齢化社会における社会保障政策を学ぶため	
活動の概要	日時	令和元年8月7日 午後1時00分から 午後5時00分まで
	研修先・主催者等	TKP 東京駅八重洲口カンファレンスセンター 「地方議員研究会」
	報告内容・実施したこと。	本格的少子高齢化社会における社会保障政策を学ぶ 1、国の進める社会保障・税一体改革とは 2、2025年に向け医療制度改革はどのように進むか
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	地方は、制度の枠にとらわれず、地域の創意工夫を活かした住民の福祉の向上のための施策の実施、NPOやボランティアの育成等を含む地域における福祉基盤の強化等に努めるべきである。それとともに、国と地方との対等な関係の中での密接な連携の下で、社会保障給付の一層の適正化に取り組んでいくことが求められる。

政務活動実施状況 38

活動名	人口減少・地域消滅の時代における医療・介護政策の重要性 自治体存亡の時代役割が高まる地方議会 セミナー研修会参加	
活動区分	①調査研究 ②(研修) ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥ 要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	人口減少・地域消滅の時代における地方議会改革を学ぶため	
活動の概要	日時	令和元年8月8日 午前9時10分から 午前11時50分まで
	研修先・主催者等	TKP 東京駅八重洲口カンファレンスセンター 「地方議員研究会」
	報告内容・実施したこと。	人口減少・地域消滅の時代における地方議会改革を学ぶため
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	○課題解決のための対策 国は、今後の社会情勢に対応すべき政策を繰り出してきています、地方もこれに早く対応しなければならないです。 ○人口減少・地域消滅の時代における地方議会改革 今後は、この現状と国の現在行われている政策・今後の方針等基礎にして、市政に微力ですが、生かしていきたいと思えます。 以上 今後の活動に生かしたい。

政務活動実施状況

活動名	国へのお願い並びに要望	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥ 要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	国へのお願い並びに要望	
活動の概要	日時	令和2年2月17日(木) 午後1時30分から 午後3時00分まで
	国への要望先等	国土交通省 赤羽 一嘉 国土交通大臣 様
	報告内容・実施したこと。	国土交通大臣 赤羽一嘉 様への陳情を行い、国会中で、代理の、水管理・国土保全局長 五道 仁実 様へ要望書を手渡しました。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	特に、犀川左岸の豊科田沢地籍をはじめ、明科南陸郷地籍犀川右岸の木戸地籍など、早急に必要としている堤防築堤の新規事業について等要望しました。 国土交通省 水管理・国土保全局長 五道 仁実 様からは、次の回答をいただきました。 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 9年間で、1200億円長野県・新潟県対応をしていきたい。被災を受けないところに関してもご心配があったように、いつどこで、災害に合うかわからない。防災・減災・国土強靱化に関しては、進めなくてはいけない。緊急3カ年の予算は、通常より上乗せされているので、しっかり施行したい。すぐに治山事業が完成するわけでもないで、令和2年以降もしっかり国土強靱化防災計画を進めていかなければいけない。予算要求をしっかりと行いたい。財政との関係もあるので、是非ともいろんな場面で、ご支援をお願いしたいと思います。我々もしっかりやりたいと思う。

政務活動実施状況 9

活動名	不登校の子供のための公立小中一貫校を視察	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	不登校の子供のための公立小中一貫校を学ぶため	
活動の概要	日時	令和2年2月18日 午前10時00分から 午前11時30分まで
	研修先・主催者等	八王子市立高尾山学園
	報告内容・実施したこと。	不登校の子供のための公立小中一貫校を学んだ 主な研修事項 ○高尾山学園創設の背景、経緯について ○学園創設による市内の小中学校全体への教育的な波及効果について ○教科書剪定の工夫等について ○ その他
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	校長先生が話をしてくれた。これによると、多摩地区初の民間人校長として本校の学校運営に関わってきて様々な取り組みの中、いままで築き上げた良いものを更に進化させ、高尾山学園 2.0 を目指して教職員一丸となって取り組んでいる。高尾山学園は地域運営学校5年目を迎え学校サポート本部も機能しています。教職員だけでなく保護者や地域の方々、農園等のご指導をしていただく等の、多くのサポートして下さる方々に支えられています。児童・生徒一人ひとりが「自分らしく君らしく」の合言葉の下、楽しく学校生活を送れるよう学校運営をしている。とのこと。今後の議会活動、市への報告をしたい。